

1. 戦争の時代

作家名	生没年、出生地	関連事項	県立美術館所蔵作品
靄光	明治40 - 昭和21 千代田町	昭和19年応召。昭和21年上海兵站病院で戦病死。代表作「眼のある風景」「ライオン」「自画像」など。	O-295 帽子をかむる自画像
山路商	明治36 - 昭和19 新潟県	大正9年広島市に移住。靄光や灰谷正夫ら広島の前衛美術家の主導者として活躍した。昭和17年結核におかされ病床に臥す。昭和19年特高に検挙、同年歿、40	O-221 O-222 2 ほか
小早川篤四郎	明治26 - 昭和34 広島市	戦前より帝展等で活躍。昭和12年以降、従軍画家として活動。	O-76 少女全像
松本俊介	明治45 - 昭和25 岩手県	昭和18年靄光、麻生三郎、寺田政明らと新人画会を結成。代表作「都会」「立てる像」「画家の像」など。	O-529 車庫近く
寺田政明	明治45 - 平成元 福岡県	靄光、長谷川利行らと交友。昭和14年美術文化協会、同18年新人画会の結成に参加。	O-492 二つの道
土屋幸夫	明治44 - 平成8 尾道市	昭和13年創紀美術協会、同14年美術文化協会の結成に参加。同18年応召。	O-230 果てしなき餐食
井上長三郎	明治39 - 平成7 兵庫県	昭和18年靄光、松本俊介、鶴岡政男らと新人画会を結成。	O-521 屠殺場
パブロ・ピカソ	1881 - 1973 スペイン	ナチス・ドイツによる無差別爆撃を契機とする大作「ゲルニカ」を描く。	P-157 7 ~ 16 2 フランコの夢と嘘
ヘンリー・ムーア	1898 - 1998 イギリス	第二次世界大戦中、ロンドンの地下鉄構内に避難した人々を描いた「防空壕シリーズ」を描いた。	W-129 ティルベリー・シェルター
六角紫水	慶応3 - 昭和25 大柿町	近代漆工芸界の第一人者。開戦当時、帝国芸術院会員、東京美術学校教授であったが、軍部の横暴なやり方に対しては毅然とした態度で応じている。	H D - 13 ほか

2. 原爆

増田勉	大正5 - 広島市	第一国民学校の生徒百五十余名を引率して建物疎開の片づけ中に比治山橋付近で被爆。「ヒロシマ」シリーズ	O-17 死んだ鳩
武永楨雄	大正2 - 平成9 広島市	昭和19年広島第2部隊入隊。兵役一時休暇で自宅待機中原爆に遭遇。廃墟の中から瓦を拾い観音像を描く。「仏像」「民家」のシリーズなど	O-20 O-32 0 ほか
神田周三	明治27 - 昭和47 広島市	被爆。10年余病床に伏す。昭和30年一水会「原爆死の行進」発表後原爆の絵を連続出品。	O-129 O-99 被爆後風景 祈願平和の歌
入野忠芳	昭和14 - 広島市	五歳の時に左手を失い、同じ年に被爆。ヒロシマ・アートグラント受賞。著書「もえたじゃがいも」（原爆絵本シリーズ・汐文	O-134 裂罅（れっか）75 - 6
岩岡貞美	大正2 - 昭和20 広島市	昭和20年陸軍伍長として西部第2部隊に応召。8月6日被爆死、32歳。	O-62 O-63 耕丘 炭焼き風景
手島守之輔	大正3 - 昭和20 竹原市	広島第2部隊に入隊。被爆し、8月16日歿。31歳。	O-84 ゆかたの少女
福井芳郎	明治45 - 昭和49 広島市	第2次世界大戦に衛生兵として参戦、被爆。生き埋めになった所を助け出される。「炸裂後15分」「ヒロシマの怒り」など原爆を題材とした制作をする。昭和49年原爆症が悪化し没す。	O-28 O-14 3 蓮 女座像
丸木位里	明治34 - 平成 広島市	原爆投下の3日後広島に入る。原爆で父をはじめ家族、親族、友人、知人の多くを失う。俊夫人と「原爆の図」連作。ほかに沖縄、アウシュビッツなど、反戦テーマの作品を描く。	J-26 J-44 竹林 ラクダ

吉村三郎	大正3 - 昭和20 山口県	中川紀元に師事、東光会展、新制作展に入選。広島で被爆し、12月16日歿、31歳	O-65	満州風景
灰谷正夫	明治40 - 昭和60 吉田町	古賀春江に師事、1930年協会展、二科展入選。昭和10年帰広し、被爆。戦後は自由美術、二科会に出品。	O-59 O-26 3	砂 風景
上野栄喜	明治45 - 昭和20 広島市	山路商に師事。昭和16年から18年独立美術展に連続入選。原爆により死去。	O-51 1	鳥剥製
大西秀吉	明治30 - 昭和20 広島市	鷹野橋洋画研究所を開設。昭和10年より県美展無鑑査。原爆により死去。		
大木茂	明治32 - 昭和54 広島市	若山為三、斎藤与里に師事。東光会会員。被爆。原爆ドームを描いた「壁」のシリーズなど。	O-51 4	壁C、ドームの中
名柄正之	明治36 - 平成9 広島市	8月6日夜、広島に入る。以後連日不眠不休で市内の被爆実態調査に当たる。その結果二次被爆放射能障害で入院をくり返す。	W-6	冬樹

### 3. 戦後の復興と平和への願い

木谷徳三	明治40 - 平成2 広島市	太平洋画会研究所に学ぶ。昭和18年応召。昭和22年シンガポールの捕虜収容所から広島に復員。広島平和美術展に出品。「追憶1(白島町)」「追憶2(ドーム)」		
芥川永	大正4 - 平成10 愛媛県	松山で原爆のきのこ雲を見る。昭和42年比治山女子短期大学教授に就任。広島市平和記念公園「教師と子どもの碑」「マルセル・ジュノー博士の碑」元安川岸「ヒロシマ」	SD-4 SD-1 7 SD-1 。	雲になった蛙 もどれない風(太田川2) 水のむ子(水/太田川4)
柿手春三	明治42 - 平成5 三次市	譚光、井上長三郎、鶴岡政男、寺田政明らと交友。昭和30年広島平和美術展を立ち上げた。戦争や核問題、環境問題をテーマに制作。	O-11	火の中の渡り鳥
金光松美	1922 - 1992 アメリカ	広島出身の日系移民の子としてユタ州で生まれる。1941-46米国陸軍に徴兵され兵役につく。広島への原爆投下を南仏で	O-47 2 O-47 2	AUGUST FRAGMENT
殿敷侃	昭和17 - 平成4 広島市	三歳で被爆。昭和62年「まっ赤にぬられてヒロシマが見えた」(広島平和記念公園)。ドキュメント映画「ヒロシマ、ある画家の情念」	P-74 ~78	とんぼ ゆきのした のこ 作品(6)
名井萬亀	明治29 - 昭和51 広島市	渡仏。サロン・ドートンヌ、アンデパンダン展に出品。原爆で作品が焼失。戦後の作品に「ピキニ爆発」「ピキニの灰」「原爆」等がある。	O-14 8	第5福竜丸
浜崎左髪子	明治45 - 平成元 ハワイ	昭和19年応召。河南省で終戦、長崎、佐世保に上陸、帰広。	J-22 6 J-22	スラム街 広島夕景
平山郁夫	昭和5 - 瀬戸田町	15歳の時、学徒勤労動員で作業中被爆。昭和24年原爆放射能被爆の後遺症で、白血球減少の症状が出る。同年「仏教伝来」で高い評価を受ける。	J-13 3	広島生変図
善鳩人	大正5 - 平成元 広島市	爆心地に近い上柳町で被爆、原爆症で死の淵をさまよう。「不死鳥(ヒロシマ)」「巢」のシリーズなど。	J-3	巢(陽)
水谷愛子	大正13 - 広島市	宇品町で被爆。押しつぶされた屋根の下敷きとなるが火災にならず万死に一生を得た。教職のかたわらに制作に励み、院展で活躍。	J-24 3	裕太と亮ちゃん
山中雪人	大正9 - 平成 広島市	昭和19年中国中支漢口の部隊に配属、昭和20年終戦となり10カ月間捕虜生活を送る。昭和21年復員。院展で活躍した。	J-42	樹下黎明
宮崎進	大正11 - 山口県	西部第二部隊に入隊。東北満州で終戦、シベリアに抑留される。昭和24年ナホトカから舞鶴へ引き揚げ。安井賞受賞。「宮崎進画集 私のシベリア」(文芸春秋・平成	O-53 2	冬の樹

佐々木寅夫	昭和13 - 豊平町	(財)放射線影響研究所勤務。ヒロシマ・ アートグラント'90受賞。「実験室」の	O-47 4	実験室
イサム・ノグチ	1904-198 8 アメリカ カ	「平和大橋」「西平和大橋」の欄干のデザ インをした。原爆慰霊碑のデザインもした が採用されなかった。	SD-1 1	追想
新延輝雄	大正11 - 広島市	原爆で父(即死)、母(1カ月後原爆症で 死亡)を失う。昭和23年原爆被災をテー マにした「たそがれ」で日展初入選。	O-37 など	母と子ら など